

たんぽぽうしん

[発行・編集] 社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティー・サポートセンター協力会
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp

地域の行事に参加しよう！

6月の北海道は気候の一番よい時期、そして行事の多い月です。拓北・あいの里も例外ではありません。そこで今回の号は、拓北・あいの里の各団体の6月の行事を取り上げてみました。過ごしやすい気候の中、はばたきましょう。



昨年のあい〜愛ウォークより

第11回 高岡・スウェーデンヒルズ祭

◎日 時: 6/11(土) PM12:00~15:00
◎場 所: 当別・高岡アクティビティーセンター

☆出演予定☆

札幌五郎連、ひょっとこ踊り玉福の会
ドリームスマウンテン など多数参加予定
焼きそば・焼き鳥・ビールやジュースなどの販売予定

恒例の大抽選会！

<問合せ先>

当別・高岡アクティビティーセンター
TEL:0133-25-3661

送迎バス運行予定

11:25
あいの里教育大駅前発

主催: 社会福祉法人 札幌協働福祉会

第9回 あい〜愛ウォーク

拓北・あいの里の街と石狩川、
水と緑の豊かな自然の中を歩きましょう

◎日 時: 6/26(日) 雨天決行
◎集合場所: 拓北・あいの里地区センター
◎参加費: 一般1,500円 小学生以下500円
◎コース: 5km、10km、20km
◎申込・締切日: 5月24日(火)~6月17日(金)

<問合せ・申込先>

拓北・あいの里地区センター
TEL:778-8000 FAX:778-3366

主催: あい〜愛ウォーク実行委員会

行事予定

◎まちづくり仲良し会 (マンション自治会協議会)

■6月5日(日)17:00 総会 場所: エスパシオ・コミュニティセンター

◎拓北・あいの里地区社会福祉協議会 TEL:778-0778(福まち)

■6月3日(金)18:00~地区社協総会 18:30~交流会 場所: 拓北・あいの里地区センター

■6月29日(水)10:00~12:00 福まちサロン 場所: 拓北パレス会館 参加費: 300円

■7月11日(月)10:00~12:00 出合いふれあい健康ひろば 申込み: 福まち(6月中)

◎カラカネイトンボを守る会 TEL:090-1307-5190(大山)

■6月19日(日)10:00~15:00 ビオトープ「とんぼの学校」の整備と茨戸川でカヌーに乗ろう！

《以下、札幌協働福祉会の予定です》

■6月4日(土)13:00~15:30 ジェントルティーチング研修会(一般対象)

■6月5日(日)10:00~17:00 ジェントルティーチング研修会(職員対象)

場所: いずれも拓北・あいの里地区センター

■6月13日(月)17:00~19:00 場所: 拓北・あいの里地区センター

日口文化交流祭 サハリンYOSAKOIチームを迎えて(+医療大YOSAKOI・教育大)

2011年4月～
2011年5月

災害ボランティア派遣報告



福島県原発避難所での支援活動

福島県田村市で移送サービスボランティア立ち上げる！

(はじまり) 福島第一原発事故で避難した人の避難所(田村市)が原発に近いということで、ボランティア不足で困っている旨の相談が福島県社会福祉協議会よりHOP竹田代表に連絡があり、HOP(竹田・中場)・協働福祉会(宮野・村山)で現地に赴いたのが4月25日であった。現地に出向いた結果、田村市で移動支援が立ち上がることになった。以下は5月7日まで13日滞在した報告である。

(報告) 原発事故の避難所に行ってきました。町全体での避難で、避難所の中でも地区毎に別れての生活でした。目に見えぬ「放射能汚染警戒地域」の方たちなので、家や財産がなくなる被害ではないので物理的苦痛より精神的苦痛が多くみられました。避難された住民から「ここはね、素晴らしい快適な刑務所なんだよ」「3食付き・おやつ付き・お風呂付き、お金はかからないし…」と話された言葉にショックを受けました。

今まで、毎日畑などで作業をしていた町の方々がその日を境に何もすることがなくなり、家や車

はあるけれど帰ることができない。また、避難所でのダンボールで仕切られたプライベート空間の生活に、お子さんのいる若い世代の方たちはアパート等に出ていかれ、現在は大半がお年寄りの方たちが生活をしていました。

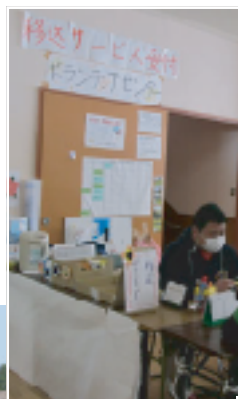
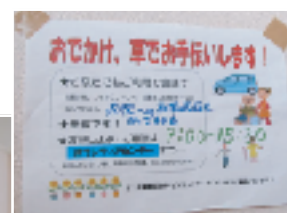
移送サービス支援は、地元の大学生1名がボランティアで主に運転業務を担っている状態でした。運転手の増加にともない、お花見などの外出企画や、住民の方たちからのグループ外出などで皆さんに楽しんでもらい、長いようで短い時間はあっというまに過ぎてしまいました。避難所の方たちがいつになったら今までの生活に戻れるのかと思いつつ、宮城県の石巻とはチョット違う雰囲気を感じていました。

(ウレシパ・ポエム 村山 雅子)

以降、HOPから1名、札幌協働福祉会から1名、計2名が田村市の避難所の移送サービスを継続的に担っている。ちなみに放射能被害を考慮して、協働福祉会の派遣者は50歳以上に限定している。



旧山小学校避難所



移送サービス支援受付所



避難されている住民の方々



化粧品等の無料配布場面



三春の滝桜見学



自衛隊が作った仮設お風呂



宮城県石巻市での支援活動

石巻災害支援ボランティア活動報告

平成23年4月19日～29日の10日間、東日本大震における災害復興支援の為、石巻市清水町へ派遣され「移動支援ボランティア・レラ」にて活動を行いました。レラとはアイヌ語で風の意味です。

「移動支援」とは買い物、通院娯楽等、生活に掛かる一切の移動をお手伝いするというサービスです。スタッフは、社会福祉法人HOPを中心に札幌協働福祉会・NPO法人歩歩路等の福祉団体で構成され、交代で常時7～8名が活動しています。

当時の石巻市は既に震災から1カ月余経っていましたが、まだ震災の爪あとも生々しく、街はがれきに埋もれ、道路の整備も不十分で、電車もバスも運行していない状況でした。そんな中「被災者全般の移動を支援する」と活動目標が打ち出され、レラには搬送車を含む計7台の車両が配備され、移動支援が展開されました。

当初は1日に2～3件程度の利用件数でしたが、

石巻市は公共交通機関は全廃であり避難所の方ほとんどが津波でマイカーを無くした方々でした。我々はレラの広報活動と被災した方々の現況ニーズの発掘を行い移動支援の利用増加を目指しました。各避難所の責任者や医療関係者、行政、他ボランティアチーム、マスコミ等へレラの活動内容を詳細に説明し徹底的な告知を行いました。

そうした事により4月20日当初は一日平均2～3件だった利用件数が増加し、24日は利用件数16件、利用人数は23人、現在ではレラの認知度も高まり一日の利用件数は平均23件で利用人数は概ね70人を数えるほどになりました。被災された方々の「ありがとう」の言葉を聞かたびに、皆さんの優しい心に感服するとともにボランティアに参加させて頂けた事への感謝がこみ上げてきました。

(アクティビティーセンター 井内 秀典)

感動的なボランティア支援の数々(5/3～13)

◇エピソード① お墓の前で

お父さんのお墓にお花を持って行きたいという方の移送支援に田中・川勝で入った時の事。市営墓地に到着し、「駐車場で待機しています」と伝えたところ、「付き添ってほしい」とのことだった為、ご同行させていただいた。お墓の前で泣き崩れ、土葬してあるお墓を何度も何度もなでているご遺族の姿を見て、私も川勝さんも一緒に涙を流し、手を合わせていただきました…。

◇エピソード② 仮設風呂にて

避難所から仮設風呂へ行きたいという方3名の移送支援と入浴介助を田中・川勝で行った時の事。足と目が不自由なお婆ちゃんの頭を洗い、背中を流した時「あ～、気持ちいいよ～」「ありがとうね～」という言葉を受けて、とてもやさしい気持ちになれました…。



Rera(レラ)前にてボランティアセンターから支給されたTシャツを着て

～感想～

今回参加させて頂けた事は、私の中でもとても良い経験となりました。レラの活動が石巻市で徐々に広まり、利用したいと言う希望が日に日に増えています。車両と人員に限界があり、希望者を全て受けてあげたい気持ちはあっても、お断りしなくてはならない現状もあり、コーディネートを行う側の苦労も感じました。

温かい食事、入浴、布団での睡眠、仕事、買い物…と私達が当たり前前に生活していることがどんなに幸せな事なのかを実感した10日間でした。

(アートセンターあいのさと 田中 美千代)

グループホーム(ケアホーム)で地域生活を乐しもう

札幌協働福祉社会総合施設長 辰田 収

注) ケアホーム＝グループホームとしてお読みください。

自立希望に朗報！

ケアホーム2カ所4月開設！

札幌協働福祉社会は、障がい者が親元から離れても、地域で自立して当たり前の生活が出来るよう、グループホーム(ケアホーム)を1997年から作ってきました。そして今年4月、新設のグループホーム(以降ケアホームの名称で表記)を2カ所開設しました。これで16カ所、80名の定員になりました。名前は「あいの里4・2」(北区あいの里4条2丁目3-20:男性用6名)、東苗穂14(東区東苗穂14条3丁目22-15:女性用5名)です。すでに半数以上入居していますが、全体的に空きが若干あるので、ご希望の方は各事業所か地域支援室にお知らせください。体験入所も可能です。(相談室 TEL:792-4185)

家族的なものからマンションまで 3つの形態

ケアホームは①一軒の家に3～7人が一緒に住む家族的なもの(あいの里4・6等12カ所)②ワンルーム(流し・トイレ・バス付:拓北5・3等)形態のもの、更に③ワンルームマンションを借りて純粋なアパート形式のもの(ラーン教育大前等)という形で、利用者のニーズに合わせて3つの形態になりました。各グループホームには世話人及び生活支援員が配置され、洗濯や掃除など苦手な場合、支援員の援助が可能ですし生活上の相談にのります。食事は、もちろん提供します。

札幌協働福祉社会のケアホーム名称は

札幌協働福祉社会ではケアホームの名称を、地域の住所から名づけています。具体的には「あいの里4・6」(あいの里4条6丁目にある)、「東23」(東23丁目)等です。障がい者の共同住居は、特殊なものではありません。すでに障がい者の入所施設をすべて解体したスウェーデン等はケアホームは普通の番地(何

条何丁目)で呼んでいます。札幌協働福祉社会は北欧のノーマライゼーションを目標にしていますので、名称も北欧に習って住所で名づけています。

グループホームとケアホームの違い

少し込み入った話ですが、障がい者自立支援法では、障がい者のグループホームを、障害程度区分1以下が半数以上お住まいの住居を**共同生活援助(グループホーム)**と命名しました。そして新たに**共同生活介護(ケアホーム:区分2以上が半数以上)**を事業化しました。そしてグループホーム・ケアホーム混合の事業所を「共同生活介護・援助一体型」と名づけました。**札幌協働福祉社会の場合は、「共同生活介護・援助一体型」であり、16の共同住居のすべてがケアホーム(区分2が半数以上)**です。実は、ケアホームにしたほうが補助金が高くなります。そんなことで障がい者共同住居は、ほとんどすべてがケアホームとなっています。グループホームはめったにありません。

ケアの必要性の非常に高い高齢者の方は相変わらずグループホームの名称で定着しています。障がい者がケアホーム、厚生労働省が法律で決めたのだから、訂正できないのですが、名前が逆の方が納得いくと思いませんか？

ケアホームあいの里4・2



ケアホーム東苗穂14



東日本大震災支援活動への御寄付を戴きました。
ありがとうございました。

◎あいの里・三上義明様(協働福祉社会へ)

◎スウェーデン・ハンソン友子さん他(移動支援・レラへ)